

# どちらのほうが得かな？

年 組	名 前	
--------	--------	--



よしみさんと、けんじさんが、街に買い物に出かけました。

それぞれの場面で、どちらのほう得か考えてみてください。



1 文房具屋さんで、えん筆を買います。



えん筆5本入り 100円



えん筆10本入り 180円

よしみさん「5本入りのえん筆は、100円だから得だよ。」

けんじさん「いや、10本入りのえん筆のほうが得だよ。」

けんじさんは、どうして得だと言っているのか考えて、そのわけを書きましょう。



2 次に、同じT<sup>ティー</sup>シャツを3枚、A店かB<sup>ビー</sup>店のどちらかで買おうと思います。

A店 1枚600円のTシャツを3枚買うと、20%引きです。

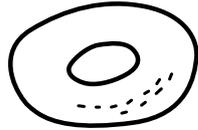
B店 1枚600円のTシャツを2枚買うと、同じTシャツを1枚半額<sup>はんがく</sup>で買える券<sup>けん</sup>がもらえます。

よしみさん「A店で買ったほうが得だよ。」

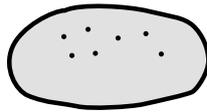
けんじさん「いや、B店で買ったほうが得だよ。」

どちらの店で買ったほうが得か考えて、そのわけを書きましょう。

3 次は、ドーナツ屋さんで、一種類のドーナツを3個買います。



ドーナツ  
1個 80円



あんドーナツ  
1個 100円



クリームドーナツ  
1個 90円

どのドーナツでも3個で220円になるセット券と、全部2割引になる券とを持っています。券はどちらか1枚しか使えません。

けんじさん「2割引券を使ったほうが得だよ。」

よしみさん「いや、3個セット券のほうが得だよ。」

どのドーナツを買うときに、よしみさんの言うとおりになるでしょうか。

答えとそのわけを書きましょう。

### コラム〈あまり当たらないうらない屋さんの話〉

よしみさんとけんじさんは、明日の計画を立てるために、明日雨が降るか降らないかを、2つのうらない屋さんのどちらかにうらなってもらうことにしました。

それぞれのうらない屋さんが当たる率は、次のとおりだそうです。

うらない屋さんC  
…当たる率70%



うらない屋さんD  
…当たる率10%



よしみさん「Cのうらない屋さんに見てもらおうよ。」

けんじさん「いや、Dのうらない屋さんに見てもらったほうがいいよ。」

どうして、けんじさんが、当たる率のよくないDのうらない屋さんのほうがいいと言っているのか、考えてみましょう。

## ねらい

・ 日常の生活の中で、単位量あたりの考えや、割合（歩合や百分率）を使えば、より合理的な買い物ができると気づき、日常生活に算数で学習したことを進んで使おうとする。

## 解説・解答

## ①

考え方 1 公倍数を使い、本数をそろえて値段を比べると、  
5本入りで100円 → 2セット買えば、10本で200円。  
10本入りで180円と比べれば、10本入りのほうが安い。

考え方 2 1本あたりの値段を比べると、  
5本入りで100円 →  $100 \div 5 = 20$  1本あたり20円  
10本入りで180円 →  $180 \div 10 = 18$  1本あたり18円

したがって、10本で180円の鉛筆のほうが得といえる。

(よしみさん：もし5本しか必要ない状況であれば、5本入りを買うほうが安いから「得」。)

## ②

A店

考え方 A店 600円のTシャツ3枚の20%引き  $600 \times 3 \times 0.8 = 1440$

B店 600円のTシャツ2枚分の代金と600円の半額  
 $600 \times 2 + 600 \times 0.5 = 600 \times (2 + 0.5)$   
 $= 1500$

B店の計算は、 $600 \times 2 + 600 \div 2 = 1200 + 300 = 1500$  でもよい。

## ③

80円のドーナツ3個のとき、90円のドーナツ3個のときは、2割引券を使ったほうが得。100円のドーナツ3個のときは、セットの220円のほうが得。

考え方 80円のドーナツ3個の2割引き  $80 \times 3 \times 0.8 = 192$   
90円のドーナツ3個の2割引き  $90 \times 3 \times 0.8 = 216$   
100円のドーナツ3個の2割引き  $100 \times 3 \times 0.8 = 240$

割合（歩合）を使った計算である。 $100 \times 3 \times 0.2 = 60$   $300 - 60 = 240$  のように求めてもよい。

コラム〈あまり当たらないうらない屋さんの話〉

占い屋さんCは、的中率70%

占い屋さんDは、的中率10%

ということは、占い屋さんDの言うことの反対の天気と考えれば、的中率は90%と考えられる。割合（百分率）を使った話であるが、ひねって考える問題である。